

アメリカ園芸学会とカナダ園芸学会の合同学会に参加して

河合義隆（三重大学生物資源学部附属農場）

第92回アメリカ園芸学会年会（92nd Annual Meeting of ASHS）と第40回カナダ園芸学会会議（40th Congress of CSHS）が合同で7月30日から8月2日にかけてカナダのモントリオールで開催された。今回、根の研究のワークショップ「Advanced Root and Rhizosphere Analysis System」があったので出席した。このワークショップについては、本誌の第4巻第2号のカレンダーに案内されている。まず、今回の園芸学会について紹介すると口頭発表は54部門にポスター発表は30部門に分けられて、合計982課題が発表された。根に関する発表の方はということで要旨集からタイトルに「root」という文字が含まれている発表をひろってみると54課題あり、全発表課題数の5.5%というところであった。想像していた以上に少なく残念な気がした。

さて、目的の「Advanced Root and Rhizosphere Analysis System」であるが、これはRHIZワーキンググループの主催によるものでグループの代表者であるSven E. Svenson博士が中心になって今回行われた。そもそもRHIZワーキンググループとは何ぞやとおっしゃる方もいると思いますので簡単に説明すると、ASHSにはいくつかの研究分野のワーキンググループがあり、RHIZもその一つで根を研究しているまたは関係しているASHSメンバーから構成されている。現在の登録メンバーは、216名である。今回のワークショップでは下記の4つテーマが発表された。コンピューターを利用しての根の長さや面積などを測定する方法等や根の生長や微生物の評価ができる根域を閉鎖的にしたシステムや根のデータを分析する統計解析についての発表であった。会場には、50人程のメンバーが出席しており活発に討論がなされた。最後に、締めくくりの挨拶で今回の演題の内容等に関して質問や意見のある人は電子メールを出して下さいと言っていたので、下記タイトルに興味をもたれた方は気軽に問い合わせみて下さい。最後に余談になるが、ネットワークの普及が進んでいることを感じた。ASHSの案内や連絡に電子メール等が利用できたので、時差を気にせず便利であった。本会のインターネットが発展することを望む。

<ワークショップのテーマ>

- 1) WinRHIZO™, a Root-measuring System with a Unique Overlap Correction Method
J.-L. Arsenault and Stephan Pouleur*, C. Messier, and Regent Guay
e-mail: regentinst@applelink.apple.com
- 2) Root Growth and Biological, Chemical and Physical Gradients in CIPS
James L. Green*, R.G. Linderman, B. Blackburn and K.A. Smith
e-mail: greenjl@bcc.orst.edu
- 3) Computer Classification of Roots From Digitized Video Images
Gary Stutte* and Elizabeth C. Stryjewski
e-mail: stutteg@bonsmtp.ksc.nasa.gov
- 4) Statistical Procedures for Analysis of Data From Root/Rhizosphere Systems
D. Micheal Glenn
e-mail: dglenn@asrr.arsusda.gov